

事業説明会 自動車部品事業

自動車部品事業部門長

阿部 茂信

2021年6月9日/11日
古河電気工業株式会社

本資料は、株主、投資家、ならびに報道関係者の皆様に当社の活動内容に関する情報を提供することを目的として作成しています。

将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況、ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、例として以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- ・米国、欧州、日本その他のアジア諸国の経済情勢、特に個人消費及び企業による設備投資の動向
- ・米ドル、ユーロ、アジア諸国の各通貨の為替相場の変動
- ・急速な技術革新と当社グループの対応能力
- ・財務的、経営的、環境的な諸前提の変動
- ・諸外国による現在及び将来の貿易規制等
- ・当社グループが所有する有価証券等の時価の変動

従いまして、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは大きく異なる場合があることをご承知おき下さい。なお、当社グループは、この資料の本リリース後においても、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。

著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、古河電気工業株式会社に帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。

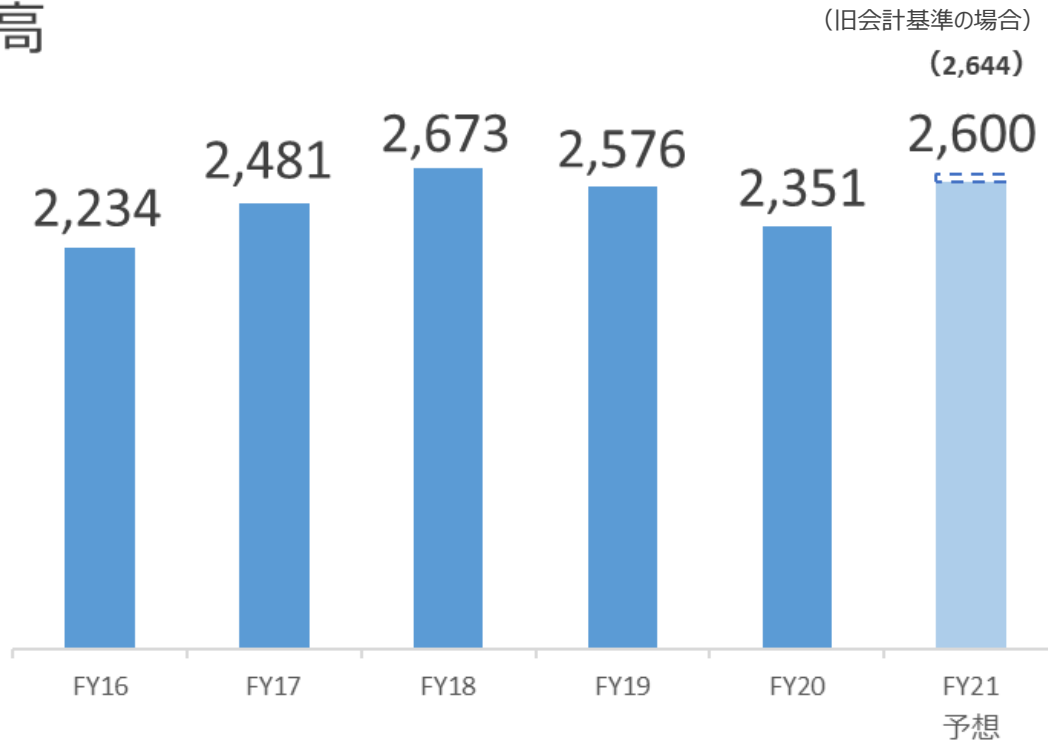
古河電気工業株式会社

1. 20中期総括と21重点課題
2. 今後の事業戦略
3. カーボンニュートラルを中心としたSDGsへの取組み
4. Appendix 製品紹介

※電池事業は、上場子会社古河電池(株)の事業です

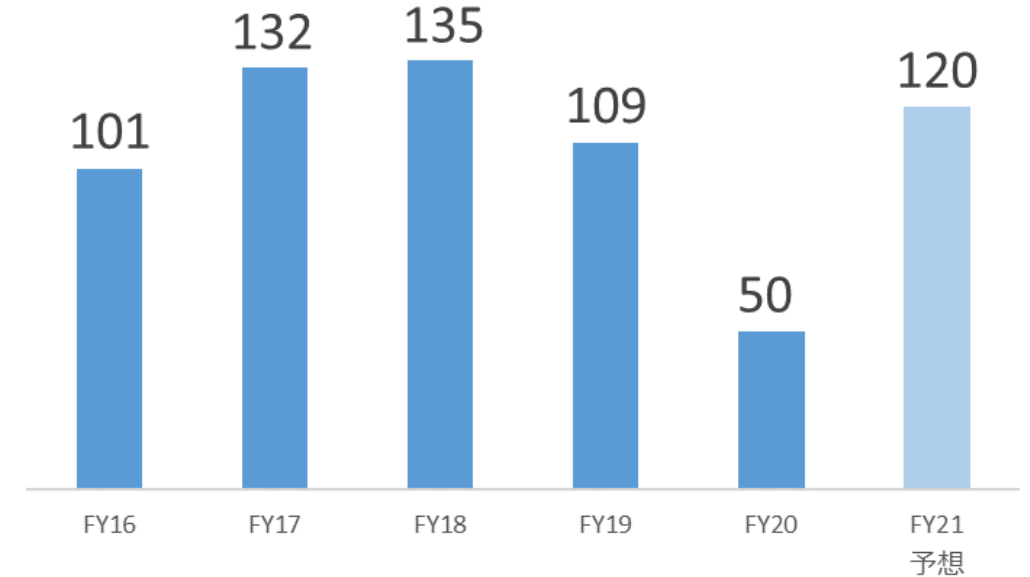
売上高

(億円)



営業利益

(億円)



【20中期総括】

- アルミW/Hを武器にグローバル車種他の新規 受注を獲得、収益に貢献する土台構築
- サプライチェーンの多重化
- 20年中期最終年の利益目標は未達 (新型コロナ)

【21年度の重点課題】

- W/H増産投資の確実な実行 (収益基盤確立)
- 量産案件の確実な立上げ (収益刈り取り)
- 半導体・樹脂不足による顧客変動リスクへの対応
- カーボンニュートラル基盤確立

地球環境配慮と安全対応の要請に対し、 素材技術含めた製品群により 電源マネジメント・軽量化・安全対応 並びに電動化に貢献

安全・安心

地球の安全
環境



心の安全
快適・利便

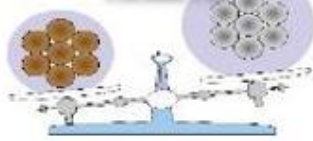
電動化、自動運転、コネクテッド、シェアリング・サービス

電源マネジメント



電源システム

軽量化



ワイヤリングシステム

安全対応



安全・快適システム

社会課題

脱炭素社会の実現 強靱な交通インフラ整備 交通事故の削減



電源システム



BSS®
(鉛バッテリー状態検知センサ)

ワイヤリングシステム



アルミワイヤハーネス
α端子(防食端子)



高圧ハーネス
高圧部品

安全・快適システム



周辺監視レーダ



SRC (ステアリングロールコネクタ)



フラットケーブル応用製品
(SDH/LSH)

カーボンニュートラル

電動車向け

アルミワイヤーハーネス + 機能部品

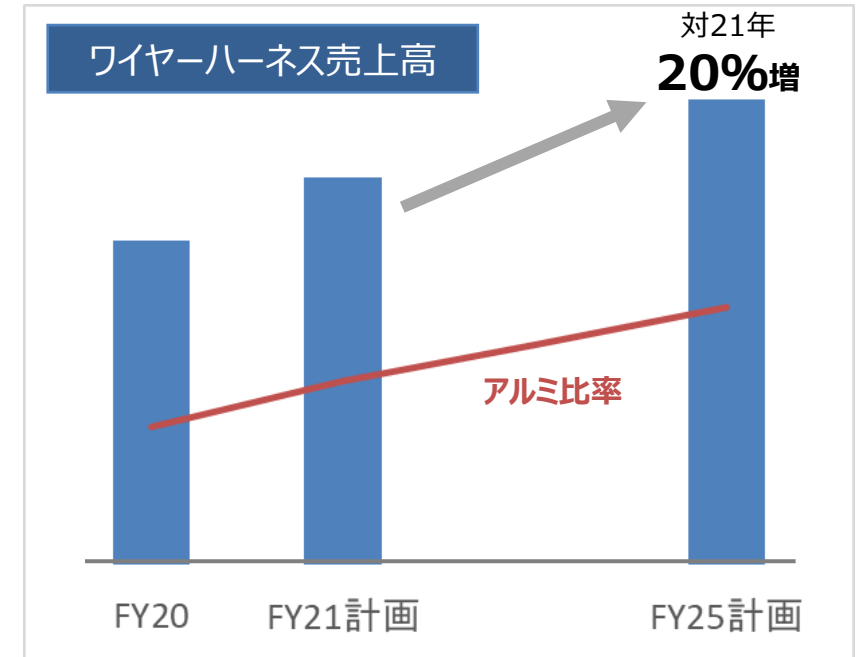
<ワイヤハーネス>

軽量化

【戦略】顧客の軽量化ニーズに応じて、ワイヤハーネス受注機会を増やし収益へ貢献する武器として、アルミワイヤハーネス・α端子を拡大していく。

【注力】

- 北米向けワイヤハーネス増産投資の確実な実行で、2021年以降利益を刈り取る。
（ベトナム第3拠点のFAVV社 8月量産開始）
- α端子（防食端子）は高い防食性能による適用部位の広さで採用拡大中。
 - ・α端子の認知度が浸透し、顧客コンペ図面にスペックイン
 - ・当該顧客の中国・米国地域専用車両や防食が必要なシートハーネスへ拡販活動
- BCMとしてのグローバルサプライチェーンの強化（多重化）



<SRC（ステアリングロールコネクタ）>

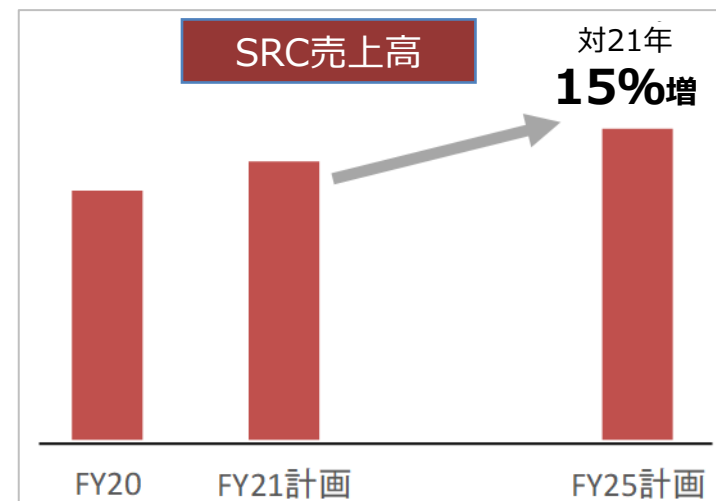
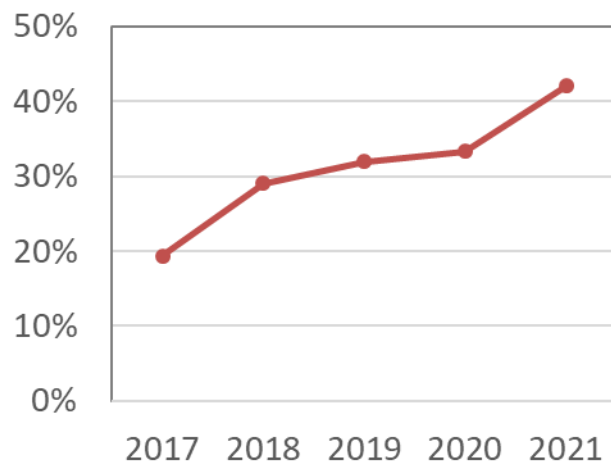
安全

【戦略】世界トップシェアのポジションを活かし、CASEと共に進化するステアリングの高機能化に応える技術ロードマップを構築し、高速通信・大電流/耐熱フラットケーブル等の新技術を採用した新製品を開発することで、事業の拡大を図る。

【注力】エアバック規制による市場拡大地域の需要取込みに加えて、安全機能進化（車線逸脱警報用振動モータの電源）、ヒートステアリング、による多チャンネル化（フラットケーブル枚数増加）対応で付加価値の向上。更に次世代自動車を想定した製品開発中。



20ch以上のSRCの出荷比率



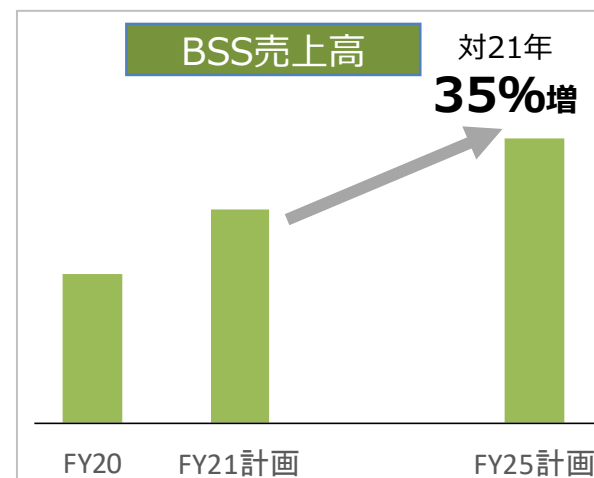
<BSS®（鉛バッテリー状態検知センサ）>

安全／エネルギーマネジメント

TNGA・・・Toyota New Global Architecture

【戦略】カーボンニュートラルを推進するために全OEMの電動車化が加速することに伴い、燃費改善や電源の品質向上に寄与するBSSの適用率が劇的に増加していく。トヨタTNGA部品として参入後、今後他OEMの電動車（軽自動車、商用車を含む）に展開。また、故障検知などの次世代新機能の開発やサービス・コトづくりで技術優位を構築し、競合社に先んじて第三世代製品を上市することで、お客様のSDGsにつながる価値を提供していく。

【注力】バッテリーの故障検知、交換通知ができる機能向上を武器にMaaSに参入。



<周辺監視レーダ>

安全

【戦略】乗用車向けに開発した高性能な次世代製品の用途を拡大。雨・雪・霧の影響を受けにくい特性を武器に、農機・建機・交通インフラ用途などの新市場で顧客ニーズを適切に検知する柔軟なソフト（アルゴリズム）搭載をもって新市場での優位性を高める。

【注力】乗用車向け次世代製品を22年年頭から量産、建機・農機向けに21年6月より量産開始、交通インフラ向けなどに向けて用途拡大中。



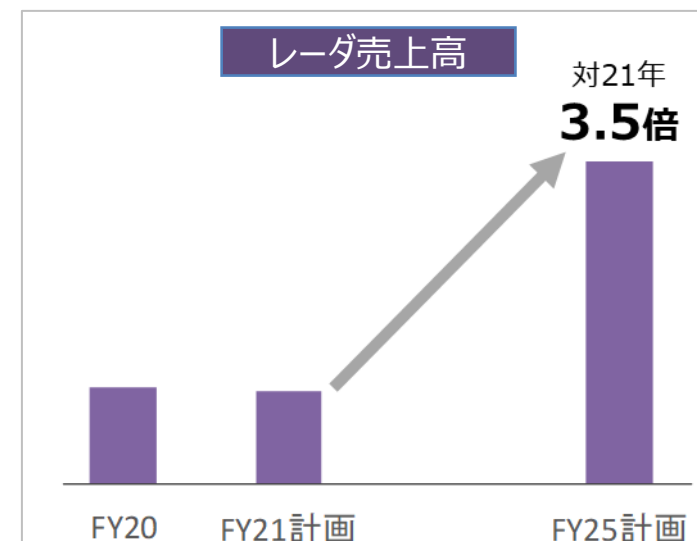
農機用



車載用



交通インフラ用
(逆走防止等)



<新製品戦略>

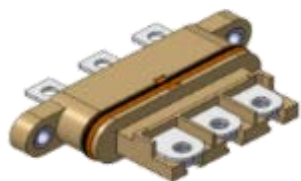
電動化／エネルギーマネジメント／安全

【戦略】カーボンニュートラルに向け電動車市場拡大が加速する日・中・印市場に高圧製品を拡販。CASEをはじめモビリティの進化に貢献する新技術・新製品の開発を強化するため古河電工グループが蓄積した独自技術を活用し、競争力のある差別化製品を開発する。また、製品ライフサイクル全体でのCO₂排出削減に向けた研究開発を推進する。

【注力】HEV向け高圧ハーネスに加え、ZEV（EV/FCV）向け高圧ハーネス、高圧端子台、高圧ジャンクションボックスの売上拡大をめざす。同時に高圧用コネクタ等製品を拡充。ソフトウェアファーストなクルマづくりや自動運転の進展がもたらす通信の大容量化に対応する製品（Ethernet電線・コネクタ、光ファイバ）、MaaS車両などの装備の追加・変更にも対応するワイヤリング技術（ワイヤレス技術他）等を開発する。



高圧ハーネス



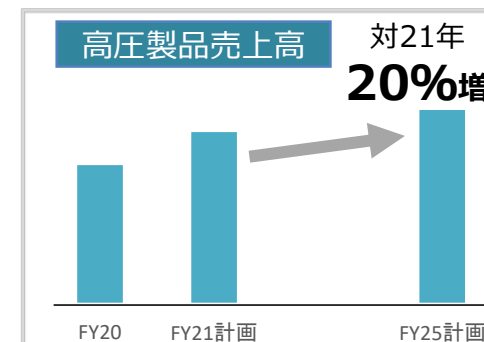
高圧端子台



高圧ジャンクションボックス



高圧コネクタ



(1) 環境に配慮した製品の拡大と創出

- ・軽量化・電源マネジメント・電動化（高圧）関連部品売上拡大（アルミWH、BSS、高圧部品等）
- ・環境に配慮した新製品創出（次世代ワイヤリングシステム、将来電線等）
⇒ 3 R（Reduce、Reuse、Recycle）設計、材料、部品点数削減等実行
- ・事業全体への施策（物流、パートナー他）も推進

(2) 省エネの生産方式の深化

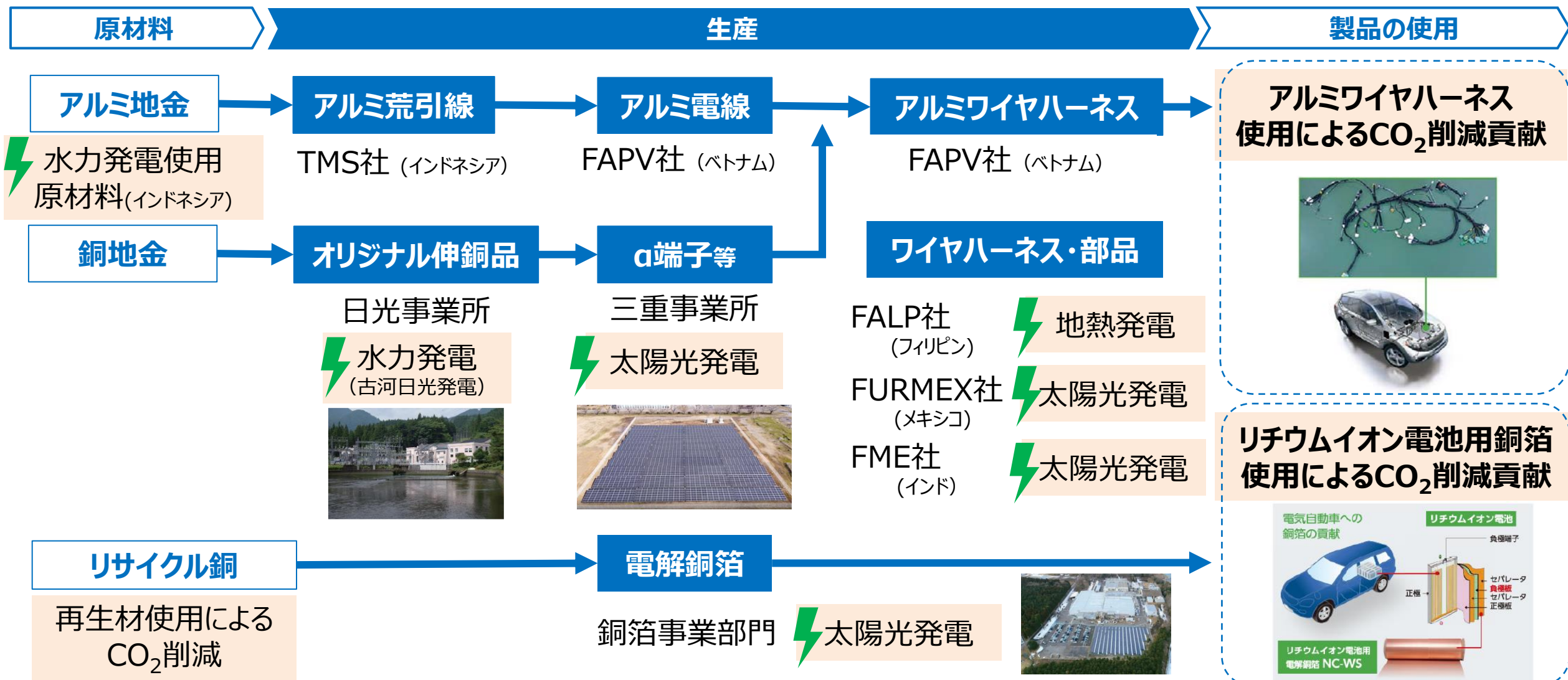
- ・IoT活用で高い生産性と両立したエネルギーマネジメント工場実現計画策定
三重事業所、滋賀本社で見える化を推進
- ・LED化、高効率空調機、太陽光街灯等実行

(3) 太陽光発電等の再生可能エネルギーの利用促進（発電設備設置）

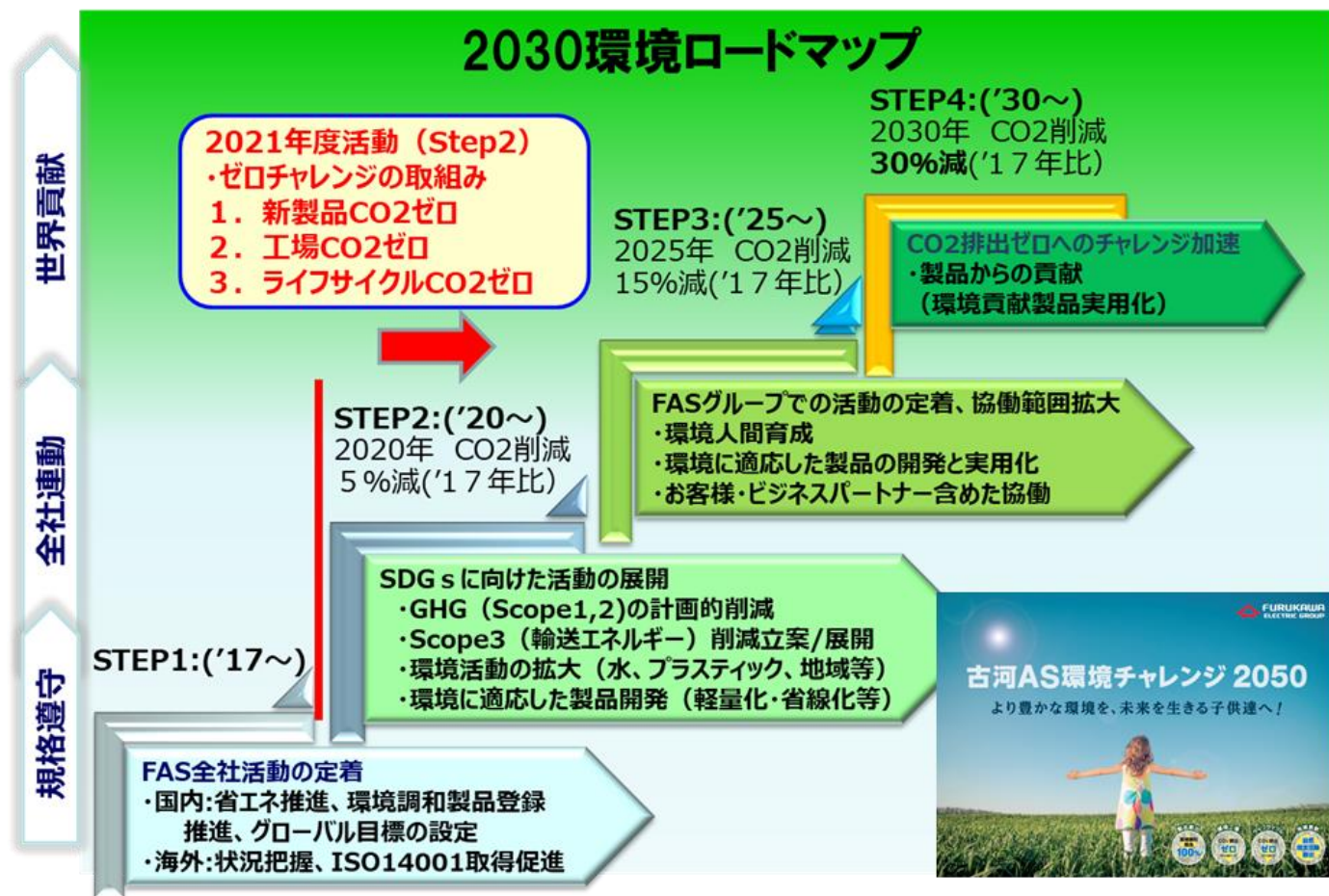
- ・三重事業所の太陽光発電開始（4/15～）
- ・滋賀本社も太陽光発電を検討し自己投資型で進める（発電開始'22年2月予定）
- ・TCFDシナリオにより気候変動リスクを検証済、2021年度情報公開準備中

カーボンニュートラルを中心としたSDGsへの取り組み

バリューチェーン全体でCO2排出量削減に貢献する取り組みを推進。



- ・2030環境ロードマップに沿って活動中。
- ・SDGs/ESGを推進中。
- ・「新製品CO2ゼロ」「工場CO2ゼロ」「ライフサイクルCO2ゼロ」に取り組む。



ご清聴ありがとうございました。

Bound to  *Innovate*

【21年度（25中計ゼロ年）の基本方針（ビジョン2030達成を見据えて）】

CASE対応により自動運転や電動化により使われる部品が拡大する中、次世代製品開発やサービス・コトづくりで技術優位の構築によりお客様のSDGsにつながる価値を提供し、車の安全性や自動運転の高度化に貢献していきます。また、2021年度以降はこれまでの増産投資の刈り取りを確実に実行し利益を積上げていきます。



【事業部門としての強み】

- 先端技術へも対応するバランスのよい製品ポートフォリオ
- グループで永年にわたり蓄積した 独自技術活用による製品開発力
- アルミワイヤハーネス、α端子の優位性
- サプライチェーンの多重化

【課題と取組み】

- アジアでの生産体制強化
- 新製品の早期立上げ
- グローバルでの自動化推進、ものづくり力向上

【外部環境 主な収益の機会】

- モビリティ変革による新たな機会
- 環境対応車向け製品ニーズ拡大

【外部環境 主なリスク】

- カントリーリスク、気候変動リスクによるサプライチェーン分断
- グローバル競争激化での価格低下

【今後の展望】

カーボンニュートラルを中心としたSDGsへの取組みを推進する中で、軽量化・電源マネジメント・電動化関連製品の売上拡大（アルミWH、BSS®、高圧部品等）、環境に配慮した新製品創出（次世代ワイヤリングシステム、将来電線等）、IoT活用による高い生産性とエネルギーマネジメントの両立、太陽光発電等の再生可能エネルギー利用促進等の活動を通じて、事業拡大と収益確保を実現していきます。



自動車部品						
						
安全	●	●	●	●		
軽量化			●	●	●	
電動化			●		●	●
CN*	●	●	●	●	●	●
主な製品	・準ミリ波レーダ	・ステアリングロールコネクタ(SRC)	・鉛バッテリー状態検知センサ(BSS)	・フラットケーブル応用製品	・アルミワイヤハーネス ・防食端子 (α端子)	・高圧製品
主な用途	・先進運転支援システム(ADAS)	・エアバッグ用コネクタ	・車両電源マネジメント	・スライドドア・ロングスライドシートへの電力供給および信号の伝達	・車両内配線の軽量化	・電動車両用の配線
主な顧客	・日系カーメーカー	・Tier 1	・日系カーメーカー	・カーメーカー	・日系カーメーカー	・日系カーメーカー

*CN : カーボンニュートラル